

新聞を
学ぼう
デスク

記事の出稿作業に
追われるデスク



新聞社には、記者に取材を指示したり、原稿をチェックする「デスク」がいます。その名の通り、編集局の中央にあるデスク（机）に座り、現場との連絡、記事の出稿作業などに追われています。紙面作りの司令塔ともいえる仕事です。

報道デスクは福島民報社の記者が取材する県内ニュースを扱います。情報の価値を見極め、現場に的確な取材を指示します。記者から原稿が送られてくると、文章の構成、間違いを厳し

く点検し、手直したり、記者に再取材を命じます。整理デスクは通信社から配信される国内外の記事にく、デスクは日々、反省を繰り返しています。

紙面作りの「司令塔」

福島民報社の場合、一面、社会面などのニュース面を担当するデスクは毎日五人が当番制で務めています。二十年程度の記者経験があ

ら原稿が送られてくると、文章の構成、間違いを厳し

く点検し、手直したり、記者に再取材を命じます。整理デスクは通信社から配信される国内外の記事にく、デスクは日々、反省を繰り返しています。

どうか、どのような大ききで扱うかなどを判断します。見出し、割り付け（レイアウト）を担当する整理記者を指揮するのも重要な仕事です。

デスクは刻々と動くニュースに気を配り、深夜の締め切り時間を見極めながら原稿や紙面の構成を変えていきます。「きょうはベス